

(10) 安全管理体制の構築・改善に必要な教育・訓練等

細目	モード	取組事例
安マネの主旨の理解を深める教育・訓練の計画 (安全管理要員)	共通	対象者に運輸安全マネジメントのコンセプトを理解してもらうことを目的とした教育内容の検討と計画の立案
	共通	新任管理者、社員に対する安全教育に運輸安全マネジメント制度に関するカリキュラムを追加
	自動車	人材確保、教育・訓練、人材活用 (自動車モード：国交省HP 取組事例No. 163)
教育・訓練の実施 (安全管理要員)	共通	安全目標の設定、展開、評価方法を理解する研修の実施
	共通	再発防止策実施方法に関する研修を実施
	共通	安全運行（航）に係る取組の状況、達成状況及びその検証・評価等について説明会形式の研修を実施
	共通	要員のモチベーションを向上させる研修を実施
	共通	社内イントラを用いた安全自主学习（eラーニング）を導入し、知識と知恵を確認する形式に工夫
	共通	外部主催の運輸安全シンポジウム・セミナーなどの定期参加と当該シンポジウム等で入手した資料等の社内周知や同資料に基づく社内での勉強会を実施
	共通	自社で安全シンポジウム・セミナーなどを定期開催
	共通	経営トップ以下の経営管理部門が、年1回、リスク分析の専門機関によるマネジメント教育を受講
	共通	外部講師の招聘、外部セミナーへの参加
	共通	セミナー参加者による社内説明会の実施
教育・訓練の有効性、効果の把握 (安全管理要員)	海事	筆記試験 → 理解度・浸透度の把握 → 教育訓練の内容改善 (海事モード：国交省HP 取組事例No. 88)
教育・訓練の実施 (技能要員)	鉄道	技術伝承等のために「安全指導のキーマン」「安全のプロ」「安全の語り部」となる社員を育成 (鉄道モード：国交省HP 取組事例No. 90)
	鉄道	力量に合わせた指導、自社他社事案からPDCAサイクルを運用したタイムリーな教育指導 (鉄道モード：国交省HP 取組事例No. 71)
	鉄道	安全管理のキーマンとなるトレーナーの育成 → トレーナーが現場要員を教育 → 現場密着型教育等により安全意識が向上 (鉄道モード：国交省HP 取組事例No. 68)
	鉄道	「乗務区グループ制度」導入 → 個々の管理・指導、教育・訓練の体制強化 → コミュニケーションも活性 → 安全意識の向上 (鉄道モード：国交省HP 取組事例No. 53)

(10) 安全管理体制の構築・改善に必要な教育・訓練等

細目	モード	取組事例
教育・訓練の実施 (技能要員)	鉄道	若手プロパー社員の効果的な人材育成、鉄道技術の継承 (鉄道モード：国交省HP 取組事例No. 50)
	鉄道	限られた人員の中、定期検査時の教育・訓練（継続的OJT）等で各人の多能化 (鉄道モード：国交省HP 取組事例No. 45)
	鉄道	「ヒューマンエラーの排除」を目標に、過去の事象を再現した視聴覚教材（DVD）で疑似体験、失敗学 → ヒューマンエラーを防止 (鉄道モード：国交省HP 取組事例No. 153)
	鉄道	自作の体験型訓練シミュレータを使用した乗務員の訓練 (鉄道モード：国交省HP 取組事例No. 179)
	鉄道	クロスロードを活用した教育・訓練の取組 (鉄道モード：国交省HP 取組事例No. 200)
	自動車	DVD等で運転の基本動作等を具体的に指導 (自動車モード：国交省HP 取組事例No. 103)
	自動車	キャリアカーでの商品車運搬にあたり、体験実習、乗務員の提案、見る視るの重要性、安全意識を向上 (自動車モード：国交省HP 取組事例No. 64)
	自動車	ドライブレコーダーから事故事例を検証 → 的確な再発防止策 → 指導教育に活用 (自動車モード：国交省HP 取組事例No. 63)
	自動車	独自の教育テキストで安全教育 (自動車モード：国交省HP 取組事例No. 51)
	自動車	高齢乗務員に向けた「いきいき運転講座」（交通安全トレーニング、交通能トレ） (自動車モード：国交省HP 取組事例No. 47)
	自動車	一人ひとりの自主性を引き出す教育・指導（いるからプロジェクト、KJ法） (自動車モード：国交省HP 取組事例No. 46)
	自動車	乗務経験管理者OB等を指導員に「専任添乗指導員制度」導入 → 良き助言者・相談役、技術伝承に寄与 (自動車モード：国交省HP 取組事例No. 39)
	自動車	全主管支店に安全専門講師を養成・配置 → セールスドライバー教育、添乗指導 (自動車モード：国交省HP 取組事例No. 34)
	自動車	ドライブレコーダーで急発進・急停止減少プロジェクト (自動車モード：国交省HP 取組事例No. 13)
	自動車	（事故の予兆把握と対策）ドライブレコーダー映像で不安全行動を把握 → 指導、教育、褒める文化を醸成 → 安全意識の向上 (自動車モード：国交省HP 取組事例No. 143)
自動車	視覚認知の体験（信号認知からブレーキ操作までの空走距離の把握） → 構えブレーキの重要性 (自動車モード：国交省HP 取組事例No. 144)	

(10) 安全管理体制の構築・改善に必要な教育・訓練等

細目	モード	取組事例
教育・訓練の実施 (技能要員)	自動車	人手不足に対応するため「乗務員育成システム」確立 (自動車モード：国交省HP 取組事例No.146)
	自動車	教育カリキュラムで専属の指導員が新卒者を育成 (自動車モード：国交省HP 取組事例No.158)
	自動車	時間や場所を選ばず学習できるeラーニングシステムで集合・対面研修を行うことなく安全教育を遂行 (自動車モード：国交省HP 取組事例No.178)
	自動車	動画配信 (YouTube) を活用した「Web安全講習会」実施の取組 (自動車モード：国交省HP 取組事例No.199)
	自動車	「ティーチング」と「コーチング」による教育・訓練手法による事故の削減及び未然防止 (自動車モード：国交省HP 取組事例No.215)
	自動車	教育・訓練のテーマである「当たり前が、当たり前であるために…」を乗務員に浸透させる取組 NEW!! (自動車モード：国交省HP 取組事例No.234)
	海事	運航船舶への乗船診断・安全教育・レーダー講習 (海事モード：国交省HP 取組事例No.89)
	海事	運航管理部門やグループ会社が「自主訓練航海」で乗船点検 (海事モード：国交省HP 取組事例No.80)
	海事	操船技術の向上、ヒューマンエラー防止のため、操船シミュレーター訓練、BRM、ETM訓練等を導入 (海事モード：国交省HP 取組事例No.58)
	海事	外部教育機関の活用で模擬操船教育訓練を継続的に実施 (海事モード：国交省HP 取組事例No.11)
	海事	「いつでも、どこでも、一人でも学べる」e-LearningによるWEB学習システムで安全運航・荷役に必要な知識、取扱いの習得と能力を向上 (海事モード：国交省HP 取組事例No.145)
海事	トレーニングセンターの自社開設をはじめとする教育・訓練の充実強化 NEW!! (海事モード：国交省HP 取組事例No.232)	
教育・訓練の有効性、 効果の把握 (技能要員)	共通	教育・訓練実施後、参加者に実技・筆記試験等を実施、効果等を把握
	共通	教育・訓練実施後、参加者の実践状況を現場巡回、内部監査等で把握
	共通	教育・訓練実施後、参加者の上司が参加者の実践状況を把握
	共通	添乗指導、第三者モニタリング制度で実践状況、効果等を把握
	自動車	階層別に1ヶ月の教育サイクルで事業所毎に実施 → 教育効果の向上 → 協働意識の醸成 (自動車モード：国交省HP 取組事例No.92)

(10) 安全管理体制の構築・改善に必要な教育・訓練等

細目	モード	取組事例
	自動車	運転技能コンテスト「D-1グランプリ」を他社と共同開催 → 車両特性、運転技術、安全意識、プロ意識、モチベーション向上 (自動車モード：国交省HP 取組事例No. 129)
教育・訓練の見直し	鉄道	技術力の見える化 (鉄道モード：国交省HP 取組事例No. 216)
	鉄道	「安全の専門家」の育成に関する取組 (鉄道モード：国交省HP 取組事例No. 205)

(10) 安全管理体制の構築・改善に必要な教育・訓練等

細目	モード	取組事例
教育・訓練の見直し (技能要員)	共通	教育・訓練実施後、参加者にアンケートを実施し、当該教育・訓練自体の課題等を抽出し、カリキュラムの見直しを実施
	鉄道 (索道)	季節従事者等への教育の充実、ヒヤリ・ハット事例の共有、整備作業マニュアルの見直し、充実、索道施設を整備・改善 (鉄道モード：国交省HP 取組事例No. 60)
	自動車	教習所で運転士研修の見直し・改善（事故再現体感訓練等） (自動車モード：国交省HP 取組事例No. 102)
	自動車	後退事故削減への取組（バックセンサーの特性を理解） (自動車モード：国交省HP 取組事例No. 95)
	自動車	乗務員採用後の単独乗務開始までの教育・訓練体制の見直し (自動車モード：国交省HP 取組事例No. 197)
	海事	使用船舶の自社点検を拡充させる取組 (海事モード：国交省HP 取組事例No. 207)
教育・訓練の実施 (中間管理者層)	航空	経営トップが参加のオンライン会議で各拠点の管理者がプレゼン（「伝える力・気づく力・報告する力」の向上） (航空モード：国交省HP 取組事例No. 186)
事故体験の共有	共通	豊富な経験を有するベテラン職員を語り部として活用
	共通	過去の事故の展示施設を設置し、社員教育に活用
	共通	過去の事故映像・事例概要パネルを日頃から、社員の目につく場所に掲示
	共通	事故事例集を作成し、社員教育に活用
	共通	他社で発生した事故が自社で発生した場合を想定し、対応を検討
	共通	小集団活動で事故体験者から経験談を説明、対応策の検討を実施
	航空	事故の記憶を風化させない、安全運航の重要性を再認識（安全啓発センター） (航空モード：国交省HP 取組事例No. 167)
	航空	過去の重大事象等をデータベース化、社内イントラに掲載 → 記憶の風化防止 → コミュニケーションも活性 → 未然防止策発掘のヒントに (航空モード：国交省HP 取組事例No. 168)
	鉄道	「事故のカレンダー」から学ぶ事故事例 (鉄道モード：国交省HP 取組事例No. 87)
	鉄道	安全啓発冊子『THE CASE STUDY』（過去の鉄道事故を漫画化）で安全意識の更なる向上 (鉄道モード：国交省HP 取組事例No. 52)
自動車	ドライブレコーダーの事故等発生時の映像を社員教育に活用	

(10) 安全管理体制の構築・改善に必要な教育・訓練等

細目	モード	取組事例
	自動車	「安全運転HANDBOOK」(乗務員指導マニュアルを高度化)の活用(イラスト等で安全習慣、事故類型を50パターンに分類等を教示) → 理解度アップ、事故減少 (自動車モード: 国交省HP 取組事例No. 141)